

〔七十一番歌合〕下四十八番 左

鼓うちみはやしけるもいちじるく月になづる白拍子哉略○中

忘れ行人もむかしのおとこ舞くるしかりける戀のせめかな

〔嬉遊笑覽五〕歌舞白拍子とは、もと拍子の名なるが、やがて歌舞の名になりたるなり、七十一番職

人歌合に、白拍子曲舞まひとつがひたり、白拍子の歌忘れゆく人もむかしのおとこ舞くるしかりける戀のせめかな、鶴が岡職人盡にも白拍子あり、秋のおもひ一こゑにてもかぞへばや

月みることのつもの夜ごろを、白拍子はかぞふるものにや、長門本平家物語にも、白拍子かぞへてとあり、今も春日若宮の神樂舞の歌に、シラ拍子ヲラン拍子と云ことありとぞ、

傀儡子

〔倭名類聚抄四〕術藝傀儡子 唐韻云、傀儡賄名久々豆、和樂人之所弄也、顏氏家訓云、俗名傀儡子、爲郭禿

〔下學集下〕態藝傀儡女曰、日本俗呼遊傀儡

〔塵袋五〕傀儡トカキテク、ツトヨム、二字心如何、

傀儡ノ二字ヲバ術藝也ト釋セリ、傀儡ノ字ヲバ子ノ戲也ト云ヘリ、ク、ツト云フハ、昔ハサマトクノアソビ術ドモヲシテ、人ニ愛セラレケリ、今ノ世ニ其ノ義ナシ、女ハ遊君ノゴトシ、男ハ殺生ヲ

業トス、又傀儡ノ字ヲバアヤシトヨム、奇術ヲ施ス義歟、又敗壞ナリト釋セリ、一旦目ヲヨロコバシ

メテ現スル所ノ事無始終心歟、

〔傍廂後篇〕傀儡

傀儡は二様ありて、いと紛らはし、事物紀原、列子通典、梁鐘傀儡詩、これらは木人形なり、西宮より出づる箱出狂坊はらといふ、又一様は遊女をいへり、下學集、本朝俗呼遊女曰、傀儡、定家卿、季經朝臣などの歌は、遊女をよみ給へり、いと紛らはし、字書には、傀儡は猶怪也、又偉也、大也、美也、盛也、とあり、傀儡は敗也、又心勞苦貌、又不安定などあれば、遊女に玄たるなるべし、